

令和5年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：現代政治分析

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計3ページで6問ある。

1. 政治学
2. 政治過程論
3. 行政学

6問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 現代政治分析 出題分野名 政治学

問題1 混合制の選挙制度はどのような政治的帰結をもたらすか。論じなさい。

問題2 日本の国会における少数派の影響力について論じなさい。

科目名 現代政治分析 出題分野名 政治過程論

問題 1 政治過程において利益団体はどのような機能を果たすか。論じなさい。

問題 2 各国で異なる福祉国家が現れたのはなぜか。政治的要因に着目して論じなさい。

科目名 現代政治分析 出題分野名 行政学

問題1 日本の中央・地方関係ならびに地方制度において、地方分権改革以前から変化がないのはどのような点か。なぜ変化しないのかも合わせて論じなさい。

問題2 行政組織において、上司の指揮命令に対する部下の裁量や自律性は、どのようなものとして理解されてきたか。代表的な論者の主張を整理して述べよ。